

あなたとまちと フェイス to フェイス



ごあいさつ

平素は、私ども中兵庫信用金庫に格別のご愛顧を賜り、誠にありがとうございます。ごさいます。

ここにお届けします「中兵庫信用金庫の現況」は、平成29年度の業務活動や業績の推移を中心に、地域とのかかわり等をわかりやすく編集したものです。ご高覧の上、<なかしん>に対するご理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

昨年度の日本経済を振り返りますと、国内経済は緩やかに成長を続けました。堅調な外需に支えられ輸出関連が好調に推移し、在庫投資や設備投資の伸びも影響し、景気の拡大は戦後最長でありました「いざなぎ景気」とそん色ない回復を示しました。しかし、一方で賃金や物価上昇が低調でありましたので、消費者意識は、まだまだ物足りないものとなりました。日本銀行は2%の「物価安定の目標」の実現を目指し、「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を継続しており、これにより市場金利は低金利が続き、金融機関にとって厳しい収益環境が続きました。

このような経営環境の中、おかげさまで預金残高では62億円の増加、貸出金残高で14億円の増加となり、収益面におきましても、当期純利益1,252百万円を計上することができました。また、経営の安全性・健全性の指標である自己資本比率は24.83%となりました。これもひとえに、地域の皆さまからの温かいご支援の賜物と心より厚くお礼申し上げます。

平成30年度は、来たる創立50周年の前年度であり、地域になくてはならない金融機関として、皆さまの信頼と期待に応え、地域社会の持続的な発展に貢献することを目指し、きめ細かな活動を通じて皆さまにご満足いただける金融サービスを提供してまいります。

今後とも、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆さまのますますのご繁栄とご健勝を心から祈念申し上げます。

平成30年7月



理事長 足立厚郎

はじめに

目次・方針・理念

業績ハイライト

なかしんと地域社会

業務のご案内

資料編

ネットワーク